

今宿商工業協同組合

どんな商店街？

福岡市西区今宿・玄洋校校区に位置し、JR筑肥線今宿駅周辺の、商工店舗の集合体として組織された商店街です。来訪者は、地元のファミリー層を中心に、子供から大人まで多岐にわたります。組合に所属する店舗は、飲食店から物販、工業まで幅広く所属しており、地域経済を支え合いながら日々取り組んでいます。

海に近いこの町は、観光客も増えており、九州大学にも隣接していることから大学生の利用も多く活気に満ちてきています。是非、今宿に興味を持って頂き、訪れて頂きますようお願いいたします。



今宿海道市

地域をつなぎ、次世代に地域コミュニティをつなぐために

1. 商店街の課題

コロナ以降、商店街および地域のつながりの希薄化に加え、商店街自体の高齢化も伴い、コミュニティを繋ぎ育むための祭りや、イベントの数が減ってきてしまっています。今宿では、花火大会も昨年度で一旦終了を迎えており、今後衰退していく可能性に危機感を持っています。

2. 「今宿海道市」を開催

今回は第三回を迎え、初の秋祭りとして開催しました。1回目、2回目実施の内容も分析したうえで、改善点を洗い出し、さらに持続的かつ、地域のためになる祭りを開催しました。

古くから地元で親しまれている二宮神社で、子どもたちのお神輿や今宿人形の販売など、伝統や歴史を感じられる企画を行うとともに、だがし屋の射的やだるまの絵付け体験など、子ども達が楽しめるような企画を盛り込みました。



3. 効果があったと思われること

大学生や高校生の出店ブース、地域の子どもたちのダンスステージを設けたことで、ご友人や親御さんなどにも多くご来場いただき、前年の約2倍のお客様に来場いただきました。



4. 来街者の声・会員さんの声

- ・商工会メンバーのお店、普段各地を回っているキッチンカー、地元の大学生・高校生、実店舗を持たない方など、様々な方にご出店いただき、地域に貢献できるイベントに出られてうれしいとのお声をいただきました。
- ・キッチンカーで出店いただいた方からは、普段色々なイベントに出ていたがその中でも売上が多かったとの声がありました。
- ・来訪者からも、地域でこのような祭りがあることは子供達にとってもうれしいし、継続して欲しいとの声をいただきました。

5. 反省点や今後の取り組み

出店者さんにも主体的に設営をお手伝いいただき、地域の方にボランティアいただくことで、スタッフ人件費を抑えさらに持続的開催をめざします。今後、お祭りの意義やこれまでの軌跡を伝えることで、地元企業の協力を仰いでいきます。